

介護者がつくる認知症情報誌

でいめんしあ

No. **14**



無料
だワン!



絵・杉本聖奈「春は若桜のサクラ色に」

Dカフェへ、ようこそ



Dementia (認知症) Diversity (誰でも)
District (地域) Dialogue (対話)
Democracy (自由対等)

Dカフェは、この町に11カ所。
介護経験者と専門職が運営する、
わが町の認知症カフェです。

認知症に関心のある人たちが、
語り合い、知識を深める場です。
知恵を出し合い、共に考え、
友達づくりをしましょう。

認知症の方と一緒にご参加を。
参加費は300円。
本格コーヒーをゆっくり味わい、
リラックスしましょう。

Dカフェは、
人と人、町と町を、つなぎます。

Dカフェへ、ようこそ

- 04 Dカフェ・自由が丘 (多世代シェアハウス 緑が丘)
Dカフェ・ラミヨ (一般住宅 五本木)
- 05 Dカフェ・世田谷下馬 (介護老人ホーム 下馬)
Dカフェ・せらびあ (三宿病院 上目黒)
Dカフェ・まちかど保健室 (訪問看護 中町)
- 06 Dカフェ・都立大学 (日扇会第一病院 中根)
Dカフェ・月光原 (複合介護施設 目黒本町)
Dカフェ・東が丘 (東京医療センター 東が丘)
- 07 Dカフェ・でんどう (高齢者センター 目黒)
Dカフェ・さんま (厚生中央病院 三田)

- 08 **トピックス < Dカフェ き・ら・り >**
コロナ支援の取り組み/Dカフェ・YORO終了/
新規オープン [Dカフェ・ソナーレ]

- 09 「コロナ禍 Dカフェ・せらびあの活動」 前田順子

<連載>

- 10 エッセイ「Dカフェの風景」 浅川澄一
- 11 漫画「ゆずこのど素人介護」 青山ゆずこ
- 13 コラム「地域医者のひとり言」 檜林洋介

- 14 **Dカフェわが町 各駅地図**
Dカフェ各店へ、最寄駅やバス停からのルート案内

- 16 **めぐろ認知症サポートマップ&スケジュール**
認知症をテーマに活動する18グループのイラストマップ

特集 COVID-19

- 20 わたしたちとウイルス 看取り医 大井 玄
- 22 コロナ禍とケアマネジメントの現場
ケアマネジャー 佐藤睦子
- 23 コロナ禍転じて、福となれ 家族介護者 上枝珠美
- 24 新型コロナウイルスと共に生きる 訪問医 松尾英男
- 25 “with コロナ” みんなで一緒に感染予防
訪問看護師 廣川直美
- 26 コロナ騒動下で思うこと
目黒区在宅療養推進協議会会長 櫻井道雄

老人ホームと町会のコラボ Dカフェ・世田谷下馬

学芸大学西口から10分。老人ホームと町会が共有するスペースが会場。偶数月には医師やケアマネなどを囲む「ミニ学習会」も開催。



ミニ学習



リフレクソロジー



▼アライブケアホーム/
下馬6丁目町会会館(下馬6丁目)
▼第3日曜日 2時~4時

看護師と健康相談 Dカフェ・まちかど保健室

さくらプラザ(旧区役所)斜め前の訪問看護事務所。食事しながらの"ランチタイムカフェ"です。



訪問看護

当分の間web開催です
第4月曜12時に
<https://kango-story.com>
からご参加下さい



看護師とカフェスタッフ

▼訪問看護STORY
(中町2丁目)
▼第4月曜日
12時~2時

三宿病院 Dカフェ・せらびあ

祐天寺駅みずほ銀行前から病院の無料送迎バスで5分。認知症疾患医療センターのスタッフとNPOが協働で運営。



医師や看護師と気軽に会話



無料送迎バス

▼三宿病院
(上目黒5丁目)
▼第2金曜日
2時~4時

多世代シェアハウス Dカフェ・自由が丘

自由が丘駅・緑が丘駅から10分。多世代が共に暮らす、おしゃれなシェアハウス。Dアート(美術)コーナーで創作力を磨いてはいかが?



Dアート(美術)コーナー



完成作品

高校生が見学に



ゆったりした交流スペース。
表のウッドデッキで隣の棟とつながる

▼オーナーズテラス自由が丘
(緑が丘2丁目)
▼第3水曜日 2時~4時

NPO 本部で懇談+相談 Dカフェ・ラミヨ

祐天寺駅から5分、静かな住宅街のワンルームに、お年寄りや家族、専門職など多彩な人たちが集まります。じっくり相談できますよ。



赤・青のストライプが目印

▼スペース「ラミヨ」
(五本木1丁目)
▼第2土曜日・第2日曜日・第4土曜日
1時~4時

田道ふれあい館 Dカフェ・でんどう

目黒駅から10分。目黒川に面した「田道ふれあい館」3階の機能訓練室が会場。高齢者センターや在宅多機能デイの利用者、そして近隣の皆さんと一緒に活動。



ものづくりテーブル



▼田道ふれあい館3階(目黒1丁目)
▼第1土曜日 2時~4時

日扇会第一病院 Dカフェ・都立大学

都立大学駅から徒歩5分。日扇会第一病院に入ってすぐ右の、リハビリテーション室が会場。作業療法士が指導する「ものづくり」が好評です。



ものづくりテーブル



▼日扇会第一病院1階
(中根2丁目)
▼第3土曜日
1時半~3時半

厚生中央病院 Dカフェ・さんま

JRの線路を挟んで、恵比寿ガーデンプレイスと向かい合う厚生中央病院。3階の講義室でカフェと学習会「座・さんま塾」を同時開催。



勤務医と訪問医でコーヒータイム



「座・さんま塾」で懇談



アロマテラピー



▼厚生中央病院3階
(三田1丁目)
▼第3金曜日 2時~4時

東京医療センター Dカフェ・東が丘

自由が丘、駒沢大学などの駅からバスで。国立病院機構東京医療センター診療棟の3階が会場。ミニフォーラムを併設。



▼東京医療センター3階
(東が丘2丁目)
▼第2水曜日 2時~4時



町のしゃべり場 Dカフェ・月光原

武蔵小山駅から徒歩10分。26号線沿いの「清徳苑」1階で開催。温かい人の和が魅力。



Dアート(美術)コーナー



▼清徳苑ホーム1階
(目黒本町4丁目)
▼第1日曜日
2時~4時

新型コロナ禍 Dカフェ・せらびあの思いと活動

三宿病院認知症疾患医療センター
前田順子

2020年3月から、Dカフェ・せらびあは7カ月にわたるお休みを頂きました。開始5年目で、毎回参加して下さる方も多かったため、心苦しい思いでしたが未曾有の事態にやむを得ないことでした。

4月から5月の「緊急事態宣言」で自粛生活が続く中、当院から何か発信できないかと話し合い、かかりつけの方を対象とした「おたより」を作成することとしました。病院からの情報提供と個人宛のメッセージに返信用便箋を同封するというアナログな手段でした。個人の思いを吐露する交流媒体になってくれればという思いから開始し、数カ月間で多くのお返事を頂きました。「デイサービスが休みになり認知症が進んでいます」「人と話すことが減って寂しいです」など、生活習慣の喪失によるお悩みの声が聞かれる一方、想像以上に医療従事者へのねぎらいの言葉も多く、皆様の思いやりには日々元気を頂いています。

10月22日に7カ月ぶりのせらびあを開催することができました。決まり事として、①事前の参加者決定、②入り口での手指消毒・検温、③連絡先の記載、④アクリルパネル設置、⑤マスク装着、⑥室内での飲食禁止、と従来と異なる多くの制限を設けましたが、トラブルもなく、再会の喜びと多くの会話が交わされた有意義な時間になりました。「マスクをつけるのを忘れて外出

してしまう」といったコロナ禍の現状ならではのご相談もあり、認知症ケアも新しい生活様式に即したアイデアが求められていると感じます。

運動・外出・コミュニケーションなどの何気ない生活習慣が、いかに認知機能を支えてくれていたかということを感じました。目黒区のDカフェはそんな生活習慣を提供してくれる場であり、さらには互いの悩みをシェアし心を軽くしてくれる、地域に欠かせない存在だと思っています。その一員として、今年もせらびあは文通や不定期開催の継続ほか、柔軟な取り組みを行っていきます。コロナ禍での生活を共に元気に乗り越えられますように！



前田順子 (まえだ・じゅんこ) さん
言語聴覚士。Dカフェ・せらびあは言語聴覚士・理学療法士・作業療法士たち“セラピスト”が中核メンバー。

Dカフェ・YORO 昨年9月で活動終了



養老乃瀧西小山店が新型コロナウイルス禍で閉店し、Dカフェ・YOROは9月で活動を終了しました。店長のジェシー・シユルダルさん、長年のご支援ありがとうございました。



クラウドファンディングで “新型コロナ支援物質”

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会は「READY FOR 新型コロナ感染症拡大防止活動基金」を活用し、「マスク・消毒液・体温計などの支援物資セット」と「感染防止対策マニュアル」を参加団体に提供しました。



Dカフェ・ソナーレ

新規オープン Dカフェ・ソナーレ

介護付き有料老人ホーム・ソナーレ駒沢公園（東が丘1丁目）に「Dカフェ・ソナーレ」がオープンしました。田園都市線・駒沢大学駅から10分です。



会場は街路に面した1階のグランドダイニング



Dカフェのスタッフ

“誰か”になってみるのもわるくない!?



あえて自分を褒めてもらい、ニヤニヤしながら聞くのが好きです♡

デンマーク発の「生活の継続性」

ジャーナリスト 浅川澄一

認知症カフェやコミュニティカフェを多く見てきた。なかで私が好きなのは、参加者たちの寛ぎの場となっているところだ。普通の生活を送っている人たちの延長線上にあるようなカフェである。

居酒屋の奥の部屋で運営していた西小山駅近くの「YORO」はその代表例だろう。どこにでもありそうな商店街の中の居酒屋。あちこちの養老乃瀧と同じように幟が翻り、派手な看板が目立つ。見慣れた景色の中だから、誰でも気軽に足が向く。

中に入ると「やあ、よく来られました」「さあさ、どうぞこちらへ」と参加者たちから声を掛けられる。すると、認知症の当人やその家族は、緊張していた表情も自然に緩んでくる。後は世間話が続き、そのうちに訪問目的の「困っていること」に話がつながっていく。

私が訪ねた時に、初めての参加者も来ていた。認知症と診断されてから日が浅い。促されて腰を下ろすと、隣席からすぐ声がかかった。言葉少なに話し出すと、目の前で常連の人が相槌を打つ。「そうでしたか」「そうなのね」と頷く。これがいい。関心を持ってしてくれる。心が通じそうだとすれば、もう仲間の一員である。居酒屋という環境はそのための格好の「場」だろう。

「場」が醸し出す独特の雰囲気、参加者たちの気持ちを重なり合わせる。形が中身を定めることはよくある。高齢者ケ

アにとって必要なのは、その「場」が特別でないことだ。

デンマークで高齢者ケアの三原則が提唱された。1982年というから、もう40年も前のこと。今では、世界各国で共通の認識となっている。

それは、①本人の気持ちを最優先にすること。②衰えた身体の中で残存部分を活用すること。③日常生活の継続性を大事にすること——である。

高齢者ケアに限らない。人として当たり前のことかもしれない。だが改めて言われると、点検してみたい。

人それぞれの生活、ライフスタイルを重視したから生まれた三原則。認知症ケアにとってはこのうち③が特に重要だろう。これまでの人間関係や生活環境を大きく変えてはいけないということだ。一定のマニュアルに即した医療と違う。ヒトはみな違う生活を営む。その生活を見守りながら手を差し伸べるのがケアだろう。



浅川澄一（あさかわ・すみかず）さん
元日経新聞編集委員。ネットマガジン「ダイヤモンド・オンライン」で医療・福祉コラムを連載中。

青山ゆずこ 25歳で認知症の祖父母と同居し、介護と素人ながら認知症とガチンコで向き合う。介護ジャーナリスト、ライター、漫画家。朝日新聞のウェブメディア「なかもある」ほか週刊誌・月刊誌でも活動中。著書に『ばーちゃんがゴリラになっちゃった。』（徳間書店）
<https://ameblo.jp/yuka-yuzu-yuu/>



梶林洋介 [地域医者のひとりに言]

新型コロナウイルスと地域の医療の変化

前回(20年9月号)、「新型コロナウイルスと「医療崩壊」というコラムを書かせていただきました。コロナ以外の疾患の診療でも、受け入れ困難などの支障が生じる可能性について述べました。最近の感染者の急速な増加により、まさにこのような状態が私の身近な医療圏でも生じています。コロナ以外の重篤な疾患の緊急性についても、なかなか受け入れてくれる病院が見つからず、入院先が決まるまで数時間を要することが日常茶飯事です。

新型コロナウイルスについては、現在のところ抗ウイルス薬の決定打はありません。ワクチンはある程度期待できますが、全く新しい機序(メカニズム)の薬剤なので、長期の安全性などは未検討の製品です。重症化は過剰な免疫反応が自己の組織を破壊する形で生じることが多く(サイトカイン・ストーム)、一旦重症化すると、抗ウイルス治療というよりは全身管理が治療の主体となります。長期にわたり集中治療室を占拠するため、なかなか空きベッドが

出ず、重症者病棟は逼迫している状況です。最近では若年層を中心に感染者の増加が見られ、家庭内での感染も増えています。家族に高齢者やハイリスクにつながる疾患の方がいる場合は、まずは自宅にウイルスを持ち込まぬよう、最大限の注意をしてください。

高熱や咳など風邪症状のある場合、また濃厚接触をした疑いがある場合などは、すぐかかりつけ医にご相談ください。各地区医師会により方式は異なりますが、PCRなどの検査につながる道筋が整備されています。

長期にわたるストレスから、辛い思いをされている方も多いと思います。最近ではストレスの予先が、警鐘を鳴らす医療者に向けられたり(脅迫の事例もあるようです)、「コロナはただの風邪」などと発言するグループも散見されます。身近な方を守るために、正確な情報に基づく行動を考えていただきたいと思います。

サイトカイン・ストーム：本来は体を守ってくれる免疫系が暴走し、正常な細胞まで攻撃してしまうこと。

梶林洋介(ならばやし・ようすけ)さん
梶林神経内科クリニック院長。目黒区医師会理事。認知症に深い識見を持ち、訪問診療に誠実に取り組む「わが町のお医者さん」です。

マイパートナー司法総合事務所

こんな相談がある時は
お気軽にご連絡ください
(相談は無料です)

- 身元保証でお困り
- 終活の準備をしたい
- 相続・贈与について
- 成年後見人の手続きは?

目黒区中目黒 1-4-18
サングリア中目黒 803号室
(東横線・日比谷線 中目黒駅徒歩3分)
TEL: 03-6451-0686
Mail: shihou@my-partner.jp



https://my-partner.jp



代表司法書士 宮内 悠衣子

女性ならではのきめ細かいサポートで
地域のみなさんのお困りを解決します!

当事務所は【親族後見】を応援しています!
書類作成や成年後見人候補者受任、関連セミナーの開催、
ご自身で可能なwebサービスも展開しています。

https://がんたん後見.com

目黒総合法律事務所

目黒区下目黒 1-7-5-402

目黒駅から徒歩5分
弁護士4人体制

おしみ
代表 押見 和彦



- ・トラブルに巻き込まれそうだ
- ・周囲に知られずに処理したい
- ・今の対応で問題ないか確認したい

わたしたちが精一杯、丁寧に、
誠実に対応いたします

まずは
予約・相談 **03-5719-3735**
平日9時半~17時半

メール相談・予約はこちら

目黒総合法律 検索 => 予約フォームへ

家族カウンセリング研究所

講演のご案内

講演テーマ **実践型!親も子も幸せ
愛が伝わる魔法のコミュニケーション**
子どもの能力を引き出すコツ
「3つほめて1つ伸ばす!」
の実践で大人も子どもも幸せに

【講師】
家族カウンセリング研究所代表
家族カウンセラー
柿澤 一二美 (かきざわ ひふみ)
所属学会 日本家族心理学会
出身地 東京都新宿区

研修事例
プレママのはじめての子育てを学ぶ講座
親と子がともに育ち合う 親のための教室

講演・研修実績
・日本赤十字助産婦学校
・キッコーマン株式会社
・岡山県教育委員会など
全国で講演・研修に携わる。

私自身親子の関係に長年悩んだ経験から
カウンセラーをこころざし、1000人以上の
カウンセリング・サポートを行ってきました。
2男2女の母、4人の子育て経験と心理学の
スキルを融合させた独自のノウハウを講演
などで伝えています。

東京 | 子どもの発達専門
家族カウンセリング研究所
東京都目黒区鷹番1-1-9
TEL: 090-6483-3104

ゆいごんじ いしたちあい 遺言時医師立会支援サービス ~相続を『争族』にしないために~

- ◆遺言作成に際し、医師が立ち合いの上、
遺言者の認知機能や精神活動を評価!
- ◆診断書(医的証明書)発行にてその遺言内容を
医的に担保します。
- ☆認知機能の改善策も提案可能!

1 「自筆証書遺言」の
医的担保

2 成年被後見人も
公正証書遺言
作成可!

→複数名の医師立会(民法973条)
手配支援も医師・櫻澤が提供中。
ご遠慮なくお問い合わせください

合同会社 パラゴン・遺言時医師立会支援センター
107-0062 港区南青山5-17-2-502
電話 03-6869-0698 (平日9時~17時30分)

詳細はQRコードからHPで確認を→





各駅地図

- ◆ 複数のDカフェへ行ってみよう
異なるカフェで、いろいろな情報と仲間に出会えます
- ◆ 認知症の人とペアで行ってみよう
専門職やケア体験豊富な人たちがお迎えます
- ◆ 散歩のついでに寄ってみよう
「予約不要」「出入り自由」本格コーヒーが飲み放題

問い合わせ：NPO「Dカフェ net」
http://d-cafe.kazekusa.jp/ TEL&FAX 03-3719-5592



目黒・恵比寿

さんま 目黒区三田1-11-7 厚生中央病院3階
第3金曜 2時～4時

でんどう 目黒区目黒1-25-26 田道ふれあい館3階
第1土曜 2時～4時
●バス停：権之助坂
目黒駅～大岡山小学校前 目黒駅～三軒茶屋駅 ほか
●バス停：田道小学校入口
渋谷駅～大井町駅 渋谷駅東口～五反田駅
目黒駅～野沢龍雲寺



駒沢大学・自由が丘

東が丘 目黒区東が丘2-5-1 東京医療センター3階
第2水曜 2時～4時
●バス停：東京医療センター前/東京医療センター
恵比寿駅～用賀駅 渋谷駅～東京医療センター
自由が丘駅～東京医療センター ほか

ソナーレ 目黒区東が丘1-35-22 ソナーレ駒沢公園
第3土曜 2時～4時
●バス停：東が丘2丁目 渋谷駅～田園調布駅
●バス停：野沢龍雲寺 目黒駅～野沢龍雲寺
渋谷駅～野沢龍雲寺



祐天寺・学芸大学

ラミヨ 目黒区五本木1-5-11 スペース「ラミヨ」
第2土曜 1時～4時 ←「ゲストを囲んで」※要予約
第2日曜 / 第4土曜 1時～4時

せらびあ 目黒区上目黒5-33-12 三宿病院3階講義室
第2金曜 2時～4時
●バス停：三宿病院前
渋谷駅～下馬一丁目循環/目黒駅～野沢龍雲寺
●三宿病院行き無料送迎バス
祐天寺駅東口「みずほ銀行」前発 1:30/2:30/3:30

まちかど保健室 目黒区中町2-31-10 訪問看護STORY学芸大学
第4月曜 12時～2時
●バス停：水道局目黒営業所前
目黒駅～三軒茶屋駅/渋谷駅東口～洗足駅

世田谷下馬 世田谷区下馬6-29-22 アライブケアホーム多目的室
下馬6丁目町会会館
第3日曜 2時～4時

都立大学・自由が丘・緑が丘

都立大学 目黒区中根2-10-20 日扇会第一病院1階
第3土曜 1時半～3時半
●バス停：中根2丁目 多摩川駅～東京医療センター

自由が丘 目黒区緑が丘2-3-1 オーナズテラス自由が丘
第3水曜 2時～4時



武蔵小山

月光原 目黒区目黒本町4-2-1 清徳苑ホーム1階
第1日曜 2時～4時
●バス停：月光原 五反田駅～世田谷区民会館(弦巻営業所)



「認知症の医療と介護の連携」を推進するセンター病院です。
 広域・多機能の「地域拠点型」と、目黒区特化の「地域連携型」があります。
 クリニックや介護事業所などとネットワークを組み、支援活動を行います。

認知症疾患医療センター

種別	活動地域	特長
地域拠点型センター 「松沢病院」 京王線・八幡山駅 03-3303-7211	目黒区 世田谷区 渋谷区	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の専門入院病棟 1日のできる総合的な鑑別診断 家族相談（要予約・自費） アウトリーチ（出前診療）  <p>センター長の 新里和弘さん</p>
地域連携型センター 「三宿病院」 東横線・祐天寺駅 03-3711-5771	目黒区	<ul style="list-style-type: none"> 専門医・セラピストによる鑑別診断 医師や専門職による医療相談 認知症患者と家族に対する初期集中支援 目黒区のネットワークづくり  <p>センター長の 清塚鉄人さん</p>

～若年性専門のワンストップ相談～

若年性認知症総合支援センター

医療・介護・社会保障・契約・就労など、多面的な相談ができます
 ・電話相談 月曜～金曜 9時～5時
 ・来所面談 予約制

無料

電話相談OK

東横線・学芸大学駅 03-3713-8205

めぐろ認知症サポートマップ



本人・家族ほか誰でも参加できます
<http://d-cafe.kazekusa.jp/>

- ラミヨ** 祐天寺駅
 どこ：五本木1-5-11 スペース「ラミヨ」
 いつ：第2土曜 1時～4時 第2日曜/第4土曜 1時～4時
- せらびあ** 祐天寺駅
 どこ：上目黒 5-33-12 三宿病院内
 いつ：第2金曜 2時～4時
- まちかど保健室** 学芸大学駅 バス：水道局目黒営業所前
 どこ：中町 2-31-10 訪問看護STORY学芸大学
 いつ：第4月曜 12時～2時
- 世田谷下馬** 学芸大学駅
 どこ：世田谷区下馬6-29-22 アライブケアホーム
 いつ：第3日曜 2時～4時
- 都立大学** 都立大学駅
 どこ：中根 2-10-20 日扇会第一病院内
 いつ：第3土曜 1時半～3時半
- 自由が丘** 自由が丘駅・緑が丘駅
 どこ：緑が丘 2-3-1 オーナーズテラス自由が丘
 いつ：第3水曜 2時～4時
- 東が丘** 都立大学駅 バス：東京医療センター
 どこ：東が丘 2-5-1 東京医療センター内
 いつ：第2水曜 2時～4時
- ソナーレ** 駒沢大学駅
 どこ：東が丘 1-35-22 ソナーレ駒沢公園 1階
 いつ：第3土曜 2時～4時
- 月光原** 武蔵小山駅 バス：月光原
 どこ：目黒本町 4-2-1 清徳苑ホーム 1階
 いつ：第1日曜 2時～4時
- さんま** 目黒駅・恵比寿駅
 どこ：三田 1-11-7 厚生中央病院内
 いつ：第3金曜 2時～4時
- でんどう** 目黒駅 バス：権之助坂
 どこ：目黒 1-25-26 田道ふれあい館
 いつ：第1土曜 2時～4時

- 目黒認知症家族会 たけのこ**
 どこ：スペース「ラミヨ」
 いつ：第2土曜 11時～12時半
- 若年性認知症家族会**
 どこ：目黒区役所会議室
 いつ：不定期 2時～3時半

- 天空(そら)の会**
 どこ：北部包括支援センター
 いつ：第2木曜 1時半～3時半
- あづまの会**
 どこ：目黒区役所
 いつ：第3水曜 1時半～3時半
- なごみの会**
 どこ：心身障害者センター「あいアイ館」
 いつ：第3水曜 10時～11時半
- 悠楽(ゆら)の会**
 どこ：目黒本町社会教育館
 いつ：第4水曜 1時半～3時半
- 八重(やえ)の会**
 どこ：中央町さくらプラザ
 いつ：第4木曜 1時半～3時半

活動のスケジュール 2021年4月～9月

名前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	連絡先
ラミヨ	10(土)11(日)24(土)	8(土)9(日)22(土)	12(土)13(日)26(土)	10(土)11(日)24(土)	8(日)14(土)28(土)	11(土)12(日)25(土)	NPO「Dカフェnet」 03-3719-5592 d-cafe@kazekusa.jp
せらびあ	9(金)	14(金)	11(金)	9(金)	13(金)	10(金)	
まちかど保健室	26(月)	24(月)	28(月)	26(月)	23(月)	27(月)	
世田谷下馬	18(日)	16(日)	20(日)	18(日)	15(日)	—	
都立大学	17(土)	15(土)	19(土)	17(土)	21(土)	18(土)	
自由が丘	21(水)	19(水)	16(水)	21(水)	18(水)	15(水)	
東が丘	14(水)	12(水)	9(水)	14(水)	—	8(水)	
ソナーレ	17(土)	15(土)	19(土)	17(土)	21(土)	18(土)	
月光原	4(日)	2(日)	6(日)	4(日)	1(日)	5(日)	
さんま	16(金)	21(金)	18(金)	16(金)	20(金)	17(金)	
でんどう	3(土)	1(土)	5(土)	3(土)	7(土)	4(土)	
認知症家族会 たけのこ	10(土)	8(土)	12(土)	10(土)	14(土)	11(土)	
若年性認知症家族会	23(金)	—	24(木)	—	27(金)	—	03-5722-9702 目黒区福祉総合課
天空(そら)の会	8(木)	13(木)	10(木)	8(木)	12(木)	9(木)	03-5428-6891 北部包括支援センター
あづまの会	21(水)	19(水)	23(水)	21(水)	18(水)	22(水)	03-5724-8030 東部包括支援センター
なごみの会	15(木)	20(木)	17(木)	15(木)	19(木)	16(木)	03-5701-7244 西部包括支援センター
悠楽(ゆら)の会	28(水)	26(水)	23(水)	28(水)	25(水)	22(水)	03-5724-8033 南部包括支援センター
八重(やえ)の会	22(木)	27(木)	24(木)	29(木)	26(木)	30(木)	03-5724-8066 中央包括支援センター

※ご注意ください！
 新型コロナウイルス拡大防止のため
 予定は変更することがあります。
 出かける前に、必ず確認のお電話を！



Dカフェ

家族会

介護者の会

新型コロナ。感染しない・させない行動を!

☀️ [感染予防のマナー]

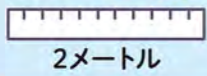
マスクの着用



マメな手洗い



人との距離



☀️ 感染予防のマナーを守れば
流行は抑えられる

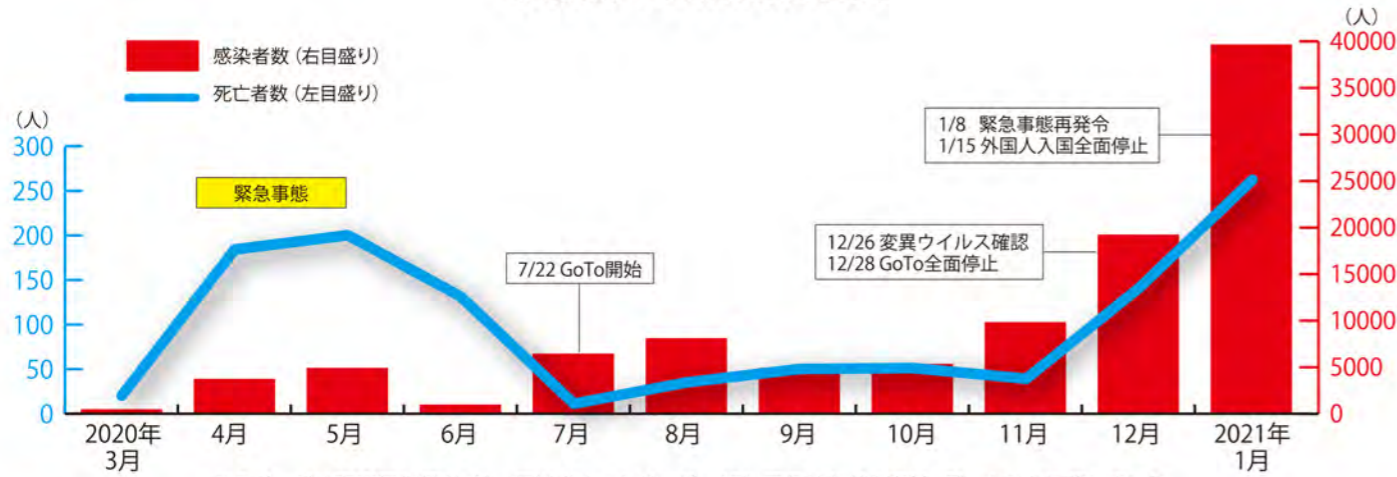
☀️ 陽性者の約8割は
ほかの人にうつしていない

☀️ 無症状・軽症者が
無意識に感染を拡大させている



受診相談窓口 平日昼間：目黒区保健所 03-5722-9089 24時間対応：東京都発熱相談センター 03-5320-4592

東京都の月間感染状況



有料老人ホーム「ソナーレ」は、ソニー・ライフケアグループが運営しています。

東京都指定特定施設入居者生活介護



ライフケアデザインの介護付有料老人ホーム

ソナーレ駒沢公園

ライフケアデザイン株式会社は、ソニー・ライフケアグループの一員です

12月1日
オープン
しました!



※土地・建物は事業者非所有です。

Life Focus

人生を想い、あなただけの時間を
ご入居者の「これまで」に着目して作成する
「ライフケアプラン」をベースに
お一人おひとりの「これから」の
“ご自身らしい生活”をご提案していきます。

2:1基準の
手厚い
人員配置体制

安心の
看護職員
24時間配置

約20㎡~約40㎡
ご夫婦部屋も
ご用意

東急田園都市線
「駒沢大学」駅
徒歩8分

現地見学会受け付け中!



屋上ガーデンテラス



グランドダイニング



一人部屋

認知症になられても、

自分らしく健やかに過ごせるように

ソナーレ駒沢公園で、新しいケアを。

“Life Focus”とは、ご入居者のその方らしい生活を実現するという、ソナーレのポリシーです。

「アイメイクは何色にしようかしら?」。いくつになられても、おしゃれ心を忘れないA様。この日は、美容を勉強中の女性スタッフが、本格的なメイクを施しました。



<ソナーレ駒沢公園> 資料のご請求・お問い合わせ・ご入居相談窓口

0120-39-5070

受付時間 / 9:00~18:00 (年中無休) 検索

<https://www.lifecaredesign.co.jp/sonare-komazawakoen/>

ライフケアデザイン株式会社 ソニー・ライフケアグループ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目11番2号 <https://www.lifecaredesign.co.jp>

【ソナーレ駒沢公園 ホーム概要】●所在地/東京都目黒区東が丘一丁目35番22号●最寄駅/東急田園都市線「駒沢大学」駅徒歩8分(約630m)●類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)●運営主体/ライフケアデザイン株式会社(ソニー・ライフケア株式会社100%子会社)●敷地面積/1,819.64㎡●延床面積/2,832.15㎡●居室数/61室(全室個室(内訳/一人用個室54室、二人用個室7室))●居住の権利形態/利用権方式●利用料の支払い方式/選択方式●入居条件/原則として、入居時、満65歳以上、要支援・要介護の方。ただし、ご夫婦およびご兄弟が同ホームにご入居される場合、お一人のみ自立可●介護に関する職員体制/2:1以上●定員数/68人●居室面積/約20㎡、約30㎡、約40㎡●構造/鉄骨コンクリート造地上3階建て●開設年月日/2020年12月1日●協力医療機関/悠輝会在宅クリニック渋谷(診療科目/内科、消化器内科、協力内容/内科医の定期訪問)、悠輝会在宅クリニック早稲田(診療科目/歯科、協力内容/訪問診療)、松原アーバンクリニック(診療科目/内科、消化器内科、協力内容/内科医の定期訪問)、アミらいクリニック眼科(診療科目/眼科)、駒沢病院(協力内容/外来受診・入院加療を要する場合は入院受け入れほか、診療科目/内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、循環器科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、精神科、神経科、放射線科、リハビリテーション科)、成城リハケア病院(診療科目/リハビリテーション科、協力内容/在宅総合ケアセンターの機能を生かしたリハビリ)、睡眠総合ケアクリニック代々木(診療科目/精神科・神経内科、協力内容/睡眠障害に関する診療) ※ご入居者の介護度や身体状況などによりご利用いただけない場合がございます。※記載の情報は2021年1月10日現在のものです。





わたしたちと ウイルス



看取り医 大井 玄

が、四人部屋で感染予防のため入室を許可されないのです。夫に話しかけられず、彼女は悔しい想いで帰らざるを得ないのです。いずれも、ケアを必要とする人が、ケアを受けられなくなっています。

微生物との共進化

ウイルスと聞くと反射的に病気を起こすものと感じます。しかし生物の歴史は四〇億年もの長さがあり、ウイルスやほかの微生物との付き合いは想像できないほどながく、緊密な関係があります。口から肛門までの消化管には、大腸菌、乳酸菌、酪酸菌などが住んでおり、免疫などの大切な機能を担っています。排泄される便の半分はこういう微生物やその死骸です。また、ヒトの遺伝情報(ゲノム)のうち、その身体を構成するたんぱく質生成に

使われる部分は2%弱にとどまり、約半分はウイルス由来です。それどころか、哺乳動物の発生にはウイルスのはたらきが必要だったことさえ明らかにされました。

新型コロナウイルス流行要因

公衆衛生学では、感染症流行の影響予測に、病原体ホスト(宿主)、環境条件に注目します。病原体については、その感染力や毒性が問題です。新型コロナウイルスは、飛沫感染し、感染性は強いが、毒性は1918年のスペイン風邪を起こした鳥インフルエンザウイルスより、はるかに弱いように見えます。ホストは、高齢やほかの疾患を持つている場合、当然のことながら、致死率が高くなります。環境条件には、発生源からの交通量、初期対応、そ

大井 玄 (おおい・げん)

1935年生まれ。東京大学医学部卒業。ハーバード大学公衆衛生大学院修了。東大医学部教授、国立環境研究所所長などを務めたのち、終末期医療、認知症医療に携わる。東京大学名誉教授。主な著書『人間の往生』(新潮新書)、『看取りとつながり』(サンガ)、『老年という海をゆく』(みすず書房)など。

新型コロナウイルスの流行で、わたしたちの行動パターンはすっかり違ってしまった。感染に対する恐怖もつよく、いろいろ不都合もでてきています。後輩の医師は、虎の門病院での定年後、山梨の老人ホームを定期的に訪れていま

したが、「東京から来る人はコロナの危険がある」という理由で、ここ何カ月通うのを中止しています。高校時代の同級生は、この春脳出血で入院しましたが、左半身不随になりましたが、意識は、ほぼあります。奥さんが見舞いに行くのです

の国の感染への対応方針な

新型コロナの発生源は、中国武漢の動物マーケットといわれていますが、世界各地へ拡散させる交通量は21世紀になり格段に増えました。パンデミックの基をなす条件です。2005年、中国に出入りした人の数は約300万人でしたが、2016年には5100万人と爆発的に増えています。

初期対応の失敗

新型コロナウイルスの最初の患者は、2019年12月1日に見つかりました。同月中旬には医療関係者に流行拡大の警戒感がたかま

武漢市中心病院で患者の治療にあたる李文亮医師は、友人たちに危険性を伝えていましたが、共産党と警察によってけん責処分を受け、デマを流したのは誤りだったという供述書に署名させられます。しかもその後彼自身が感染して死亡しました。

警察は、現場で働く医師8人を、感染症についてデマを広げたか、で「けん責し、教育した」と伝えました。習近平主席の当局はこの時点で彼らに耳を傾け、流行拡大を防ぐ手段をとるべきだったのに、その機会を逸してパンデミックを引き起こすことになりました。中国は、12月31日にWHO(世界保健機関)に新型コロナウイルスについて通報していませんが、自国民は蚊帳の外に置かれたままです。武漢の市長は、2020年1月後半まで感染症について発言するのを許されな

ったと語っています。政府は1月23日に武漢を「隔離検疫」する断固とした措置をとっていますが、市長によれば500万人がすでに武漢を離れていました。無症状感染者は世界各地に分散していきました。

指導者の対応誤り

国の最高指導者が状況を把握できず、科学者の意見を尊重せず、新型コロナウイルス流行を手ひどく拡大させてしまった例が米国にあります。ドナルド・トランプ大統領です。

「アメリカ・ファースト」をさげぶ彼は、地球規模の保健は不必要だとみて、パンデミック対応の機関を廃止し、CDC(アメリカ疾病予防管理センター)の海外部局を49カ国から10カ国に減らします。その新型コロナウイルス流行についての発言と対応は、終始、楽観

的で無知かつ無責任でした。「そのうちに、奇跡的に、それは消えるよ」という発言は、感染症の歴史に残るでしょう。また「コロナウイルスは消毒薬に弱いから、それを注射したらよい」には、直後に製造元が否定し警告を出します。

一方4月、WHOへの拠出金を止めると発表します。「その基本的義務を怠った」という理由ですが、同機関は1月「国際的公衆衛生緊急事態」など頻りに警告を出しています。それを無視していたのがトランプ大統領でした。

7月、世界人口の4%の米国が、世界の感染者の24%、死者の26%を占めるに至ったのです。明けて2021年1月、米国の感染者は2500万人、死者は42万人に達しました。一方「緊急事態」下の日本では感染者37万人、死者は5千人です。



コロナ禍転じて、福となれ

家族介護者 上枝珠美

2012年のお正月に、姉の異変に気がついた。病院を転々として、翌年の春、若年性アルツハイマー型認知症と診断され、姉は実家の愛媛に戻って行った。

数年後、母がグループホームに入所した。現在、要介護5の状況である。

父は2018年秋に胆管癌の手術をした後、肝臓瘍、糖尿病で入退院を繰り返し、自宅療養。かろうじて自立した生活を続けていたが、体調は不安定だった。私は2019年2月から父の介護のため休職し、4カ月後に東京の会社に復帰した。定年退職まで1年4カ月を残していた。

半年後、中国武漢のコロナウイルス関連のニュースが頻繁に報道され始めた。その頃は対岸の火事で、私には関係ないと高をくくっていた。2020年は待ちに待った東京オリンピックの開催の年である。

2020年3月下旬。多くの人のリモートワークを始め、「緊急事態」という言葉も出始めた。私は時差出勤で、ラッシュ時は避けるように工夫していたが、愛媛にいる3人の家族が気になっていた。いつ緊急事態宣言が出てもおかしくない事態となった3月末日に上司と面談があった。「介護状態の3人を抱えているので、4月からは実家に戻り、在宅勤務をさせてほしい」との要望を出した。しかし、直属の上司からは「通勤圏内にいることが会社の雇用条件で、通勤圏外の在宅勤務は認められない」「勝手なことをすると、仕事をしても有給休暇扱いだ」「社会人として最低の行為、ダメな人間だ」とまで言われた。援護して下さった上司もいた。「緊急事態下である。ローカルルー

ルで認めても良いのではないかと……。

半年後に停年を迎える私は、リモートでも仕事をこなせると確信していた。会社を辞めてもいいと覚悟し、「働いた時間、全て、有休扱いにして頂いてかまいません」と意思を貫いた。そして4月7日、緊急事態宣言が発出された。

6月になると、「輪番制で密を避け出勤する体制」に会社も変化してきた。私はこのまま会社を辞めようと思っていたが、体調が安定してきた父は絶対に最後まで働くべきと主張した。

会社に戻ると、ほとんどの人はリモートワークで出勤をしていない。転勤している人も自宅に戻り、リモートワークをしている。人によっては、子供が小さいからコロナが終息するまで出社しない、と宣言している。私が実家に帰っていたことを責める人は、誰もいなかった。そして10月、定年を迎えることができた。

私が4月に愛媛に戻り在宅勤務をしたのは、いろいろな妄想の結果だ。一人暮らしの父は体調を崩しても、受け入れて貰える病院がないかもしれない。

要介護5の母がコロナにかかったら、死ぬまで、あるいは死んでも会えないかもしれない。

要介護3の姉は外出できないストレスで暴れ、今の施設を追い出されてしまうかもしれない。

家族のそばに居よう。介護家族がいれば、誰でも考えることだと思う。

今年の初詣。全ての人々が「禍(災い) 転じて福となれ」と祈願した。

コロナ禍とケアマネジメントの現場

ケアマネジャー 佐藤睦子
ケアメイト大岡山

感染拡大を阻止しながら経済も回していこうとする。アクセルとブレーキを同時に踏みながら時間が過ぎているような状況……。介護の現場も今まさにそのようです。

「感染が怖いからデイサービスに行けない」「感染リスクが高くなるから訪問サービスを中止にしたい」といったケースが増えました。ケアマネの来訪にも慎重になり、制度で定められている月1回の「モニタリング訪問」もできていない、というケアマネ仲間の話も耳にします。社会との交流がなくなることで、身体機能や認知機能の低下が進むことは避けようがない事実です。が、命を奪われるよりはましと言われてしまえば、反論できません。今まで経験したことのない状況。培ってきたさまざまなノウハウが通用しない場面に遭遇することが多くなったと感じます。

認知症の初期段階の方のケースです。

長く続けてきた合唱やウォーキングのグループ活動が中止となり、社会交流が激減しました。「引きこもり」を心配したご家族が、ご本人を説得しデイサービスの利用開始にこぎ付けました。しかし、認知症の初期によく見られる「いやいや症状」が発動し、「コロナが怖いから行かない!」と言われてしまいました。悩むご家族。「コロナ」というのは新しいことを始める際の不安の表れなのでは?とお話しし、再度デイサービスを利用することのメリットやデメ

リットをお示ししました。デイの職員にも協力してもらい、工夫して、まずは体験してみることに。そして、楽しみ・喜び体験を積み重ねていくこと。あせらずに進めていこうと……。

膝の手術をされた方のケースです。

きちんとリハビリすれば、自宅で生活ができるようになることを期待して手術に臨みました。しかし、術後は期待とは裏腹に立つことさえままならない状態です。長引くリハビリ入院。家族は面会ができず、ご本人の気持ちをはかることも、エールを送ることもできません。入院期間終了に際し開催されたカンファレンスで、病院から告げられたのは「自宅に戻るの無理。施設をお勧めします」という意見です。「一度でいいから自宅に戻してあげたい」と願う家族に対し、「介護を甘く見ているとしか思えません」と言うのです。自宅に戻すという考えが悪いことと決め付けているように感じられた瞬間でした。話し合いを重ね、期間限定で帰宅はできたものの「家に帰ることを否定」された、今まで味わったことのない体験でした。

アクセルとブレーキを同時に踏みながらの走行であっても、私たちは今どこを走っているのか、誰を乗せているのかを忘れずに、本当に大切にしなければならないことを見失わない。それがコロナ禍におけるケアマネジメントであると感じています。



“with コロナ” みんなで一緒に感染予防

訪問看護師 廣川直美
ナースステーション東京・目黒支店

新型コロナウイルス感染症では、これまで経験したことがない対応の日々が続いています。

発生当初から強く実施していることは「感染予防対策」です。事務所のレイアウトを変更し、ビニールカーテンを使用した“ゾーニング（エリア区分）”を行いました。換気と備品や物品の消毒は徹底しています。スタッフは2チームに分け、事務所内でもメンバーが直接接触する時間を減らす対応をしています。スタッフにはプライベート・タイムでも感染予防対策を徹底するように求めています。

現在の第3波ではゾーニングをさらに増やし、社内での「コロナ対策ガイドライン」を作成し、対策を強化しています。

私たちが感染予防対策を講じていても、感染拡大の状況の中では利用者から「コロナが心配だから訪問看護サービスをお休みしても良いですか？」と連絡が入ります。感染の恐怖から通院を控えたり、人との接触を減らす状況なので、これは当然のことと受け止めています。しかし、健康管理上、訪問看護が必要であった方、リハビリテーションが必要であった方への適切な支援ができない状況になってしまいました。

サービス休止中の利用者には担当者から適宜、電話で体調や生活状況を伺い、疾患

管理上でのアドバイスやリハビリテーションなどの提案を行いました。電話をすると多くの方が、精神的にも不安定になられていたり、日常的な会話さえも減り「今日初めて人と話をしたわ！」とおっしゃる方もいる状況でした。高齢者や療養者に自粛を強いることは、ADL（日常生活動作）や精神活動の低下につながる危機感を強く抱きました。その後、電話訪問も制度で認められるようになったので、これからは積極的な利用が必要になるであろうと考えています。

現在、日々感染が拡大する中で、病院や高齢者施設、同居する家族などからの感染事例が多くなり、さらに危機感が強くなってきました。一層の感染予防を講じなくてはならない状況です。私たちスタッフや利用者の皆様に感染がなくても、またケアの内容などにかかわらず、感染予防の観点からマスクのみならず、フェイスシールド、手袋、防護服などの着用が必要な状況もあります。皆様にも一層のご協力をお願いします。これはもし近くで感染が発生しても、「できる限りの対策をしていたから大丈夫」と安心していただけるためのお願いです。

今後も一緒に感染予防をしながら、with コロナの中でも、自宅での生活を安全に、楽しく過ごせるよう支援していきたいと考えています。

新型コロナウイルスと共に生きる

訪問医 松尾英男
えびす英クリニック

在宅医療の現場もコロナの世界的流行により大きな変化が見られています。患者さんやご家族が感染予防の一環として、人との接触を減らす目的で、デイサービスやショートステイの利用を控え、また訪問看護や訪問介護、訪問リハビリテーション、訪問マッサージなどの利用を減らしました。介護サービスを一切中止した方もいらっしゃいます。当院では訪問診療を中止した方はいませんでした。ただし病院の受診、検査は必要と思ってもコロナ感染の心配から、通院を控える方が多いようです。

外出や通院もほとんどなくなり、出かける機会が減って、ADL（日常生活動作）が低下し、精神的にもうつ傾向やイライラが見られ、元気がなくなってストレスが増えています。同居していない親兄弟や孫、友人などにも会えないのが辛いところです。特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設は、入居者の多くが基礎疾患を抱えているため、何カ月も家族面会ができていないケースもあります。

ご自宅を訪問する際の手洗いや消毒など、在宅患者さんと家族のサポートは今まで以上に時間や手間がかかるようになりました。特に気を遣うのが患者さんの発熱です。在宅でそのまま治療するのか、PCR検査のできる病院を受診させるか、早急に判断しなければなりません。

幸い私の往診している患者さんや家族にはコロナ感染者は出ていませんが、時間の問題のような気もします。

そのためにも、病院とは、患者さんの病状の情報交換をしっかりと行うなど、緊密な連携が必要となりました。病院の先生、看護師は非常に大変な状況になっており本当に頭が下がる思いです。コロナであってもなくても入院すると面会がほとんどできませんので、病状がターミナルである際は、入院するか自宅看取りをするかの話し合いをご家族と行うことが多くありました。

ワクチンができて感染は完璧に防ぐことはできず、これからもまだまだ「感染予防の生活」は続きそうです。コロナ関連だけではないとは思いますが、残念ながら自殺者も増えてきています。経済的理由などいろいろな原因があるかと思いますが、自分ひとりで抱えこまず、友人や知り合いと電話で話したり、病院にかかっていたら担当医や訪問看護師、ケアマネに少し辛い気持ちを話してもいいかもしれません。

これからも何とか肉体的、精神的に日々自己体調管理をして、行政や家族、そして介護、医療からのサポートを受けながらコロナ時代を生き抜くしかないと思っています。

認知症対応型共同生活介護グループホーム

かたくりの里 目黒

東京都目黒区目黒本町5-21-2 3ユニット：定員27名
03-5725-2831 東急目黒線「武蔵小山」徒歩7分



お気軽にお立ち寄りください!

わたしの居場所、あなたの居場所
共に生きる場所

ご入居者さまにとって居心地の良い場所であるために
何が出来るかを常に考え、工夫を重ねています



全床に見守りロボット「眠りSCAN」を配備。睡眠状態を
把握し生活習慣の改善などに役立っています。



ALSOKあんしんケアサポート株式会社

東京都港区元赤坂1-5-31 新井ビル3F
03-5414-5021 <https://acs.alsok.co.jp>

～「安心」と「安らぎ」の空間～

「第二の我が家」と思っていただけ、
家庭的で温かい、心のこもった介護を



グループホーム
ひかり目黒

152-0032 目黒区平町2-15-20

お問い合わせ・資料請求は—

電話 03-3718-6866

Email ghhikari_meguro@crest.ocn.ne.jp

グループホーム
かがやき目黒

153-0063 目黒区目黒 4-17-18

お問い合わせ・資料請求は—

電話 03-6451-0635

Email ghkagayaki_meguro@orion.ocn.ne.jp



株式会社日光ハウジング

コロナ騒動下で思うこと

目黒区在宅療養推進協議会会長 櫻井道雄
厚生中央病院名誉院長

少子超高齢化から2018年6月に「人生100年時代構想会議」(内閣府)で、元気な高齢者は多様性を評価し社会参加を促すこととした。一方、元気でない高齢者は在宅死を望むもさまざまな理由から病院死が多く、これを減らすことは医療費の削減にもなり、高齢者を最後まで地域全体で支える地域包括ケアシステムが創られ、在宅療養が推進された。

今、新型コロナウイルス感染症が世界を覆い、世の中の仕組みを根本的に変えざるを得ない状況が生まれている。わが国では人工呼吸器を外すことは積極的安楽死に該当する可能性があり、慎重に議論されてきた。しかし、コロナ騒動下で医療資源の有効活用から、人工呼吸器を取り外すプロセス提言が生命・医療倫理研究会有志から発表された。

イタリアでは80歳以上の新型コロナ感染者のICU集中治療は適応外とされ、スウェーデンのカロリンスカ大学病院でも基礎疾患を持つなどの高齢患者はICU集中治療の適応外とされた。アメリカ・ペンシルベニア州の多くの病院は治療優先順位として多くの命を救うこと、多くの生存年数を確保することを原則とし、若い患者ほど優先順位を高くした。

ロックダウン(都市封鎖)をしなかったスウェーデンは、多くの感染死亡者が出たことで周辺国から批判を浴びた。死亡者の

多くは介護施設の高齢者であり、介護システムに原因があるといわれている。かつて、医療サービスは日本でいう都道府県が担い、介護サービスは市町村が担当し、医療と介護が分離していた。高齢化による長期入院(社会的入院)が問題視され、1992年にエーデル改革が行われた。長期医療サービスと福祉介護サービスの統合化で、医師以外の医療職を福祉介護サービスへ移行させ、地区看護師は介護分野で初期医療を担い死亡確認書の発行も行うようになった。高齢者は一般住宅と「特別な住居(高齢者施設)」で医療介護を受けるようになり、社会的入院は解消されたが高齢者施設は看取り施設化していった。ここに新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい多くの高齢者が死亡した。

医療と介護は表裏一体であり連続性がなくてはならない。高齢者の多様性が評価され、尊厳と自己決定権が保障された社会でなければならない。コロナ騒動下で、命のトリアージで高齢者が切り捨てられるとすれば、エイジズム(高齢者差別)はさらに深刻化し、世代間の対立を生み、家族制度の崩壊、社会そのものの崩壊につながる。誰でもが高齢者となり、病気となり終末期を迎える。医療や介護を提供する側も、必ず「受ける側」に回ることを忘れてはならない。大変な時こそ皆で一緒に手を取り合って、難局を乗り切らなくてはならない。

トリアージ：患者の重症度に基づき治療の優先度を決定し選別を行うこと。

**訪問看護ステーションSTORY学芸大学
まちかど保健室 Dカフェまちかど保健室**

あなただけの物語
STORYを大事にします



目黒区全域
世田谷区一部

24時間対応
急患受付

赤ちゃんからお年寄りまで
ご自宅での療養をお手伝いします

☎03-6452-3539

目黒区中町2-31-10
元区役所 さくらプラザ近く
どなたでもお気軽にお越し下さい

在宅看護専門看護師
看護師・保健師
認知症ケア専門家

相談無料

ナースステーション東京 ~目黒~
Tel 03-6417-0561

24時間
対応

看護師・理学療法士・作業療法士・
言語聴覚士がご自宅に伺います。

健康チェック リハビリ 医療処置

マイケアプランセンター東京 ~目黒~
Tel 03-6417-0562

ケアプラン作成 介護相談・アドバイス

目黒区上目黒2-36-3

訪問介護
24時間定期
巡回訪問
障害福祉
サービス
看護師・
家政婦(夫)
紹介

ケアプラン
作成

住み慣れた街で、家で、暮らし続けたい。
そのお気持ちを大切に、
サービスに努めます。

はぎ介護センター
☎ 03-5436-6081 7階
fax 5436-6082

居宅介護支援事業所はぎ
☎ 03-6417-0341 5階
fax 6417-0342

有限会社 はぎ介護センター 目黒区目黒2-8-10 アーバン目黒ビル 5階・7階
<http://www.hagi-kaigo.co.jp/>

介護のあれこれ、笑顔に変えてゆけ

生羅 SEIRA


☆訪問介護
☆デイサービスセンター
☆ケアプラン作成

お気軽にお電話下さい
070-5558-1063
有限会社 生羅 目黒区中央町2-16-3 ミネタウンハウスB棟

生羅にご依頼ください

〈笑顔〉のある介護現場！
後悔しない介護を心がけています

網目のように織られた絹。縦と横幾重にも
重なり合ってるので丈夫な織物を形作ります。
丈夫でありながら、とてもしなやかな
んです。お客様・ご家族様をはじめ、支援
に関わる多くの方々、そして私達、縦横の
交わりを通して、お客様の生活をしなやかに
支えたい!! 認知症の方に寄り添いたい!!
そんな願いが「生羅」の二文字。



地域のコンビニ介護屋
株式会社 **ナイスケア**

創業昭和30年~不易流行
ケアメイト大岡山
厚生労働大臣許可 看護師家政婦(夫)紹介所

ケアプラン作成 24時間定期巡回
デイサービス 住宅改修
訪問介護 福祉用具 障害者支援

介護や
家事・育児などの
“ちょっと困った”を
ケアワーカーが
解決します。

※ケアワーカーとは家政婦(夫)のことです

☎03-3717-7143 <http://www.nice-care.co.jp> 介護保険以外は
こちら →

☎03-3717-3115 <http://www.care-mate.co.jp>

自由が丘訪問看護ステーション

豊富な経験と確かなケアで
ご自宅の療養を支えます

24時間対応

ケアプラン
介護相談
医療処置
認知症ケア
末期・難病
リハビリ
床ずれ

看護師/ケアマネジャー/リハビリスタッフ

03-5701-2010 <http://jiyuugaoka.net/>
目黒区自由が丘1-23-24 サンテラス自由が丘101

日本財団在宅看護センター
街のイスキア
訪問ナースステーション

ご相談はこちらへ
Tel 03-6303-4894
Fax 03-6303-4895

いつでも
あなたが
笑顔でいられますように
24時間365日
住み慣れた家での
暮らしを支えます

目黒区中目黒5-1-19 1階





暮らしを支える総合的な介護サービス **優っくり小規模多機能介護 目黒中央**

訪問 + 通い + 宿泊

3つのサービスを1か所で

デイサービスと同じ場所で、お泊りもできます。
ヘルパーがご自宅まで伺うこともできます。
優っくり小規模多機能 目黒中央は
皆さまの在宅介護を全面的にサポートします。

優っくり小規模多機能 目黒中央/奉優会
目黒区中央町2-32-23
電話 03-5734-1643
メール megurochuo-syoukibo@foryou.or.jp

C'est la vie

介護付有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）

せらび恵比寿

[東京都目黒区三田 2-10-20]

支える人、
支えられる人、
みんな、しあわせ。



せらび恵比寿が選ばれる3つのポイント



1.5 : 1 の人員体制

お一人おひとりの自由と個性を大切に「上質な暮らし」を送っていただくようお手伝いさせていただきます。



認知症対応力

せらびのグループホーム運営で培われた認知症対応のプロフェッショナルが入居者さまのそばに寄り添います。



個別機能訓練の充実

毎日行われる集団体操、口腔嚥下体操とは別に個別リハビリを最大週5回行っております。リハビリ病院からの受け入れ実績多数あり。

ご利用料金のご案内

終身プラン	入居一時金	20㎡居室	18㎡居室	償却期間
		3,000万円	2,700万円	72ヶ月
1年契約プラン	入居一時金	20㎡居室	18㎡居室	償却期間
		600万円	540万円	12ヶ月
月額利用料	※終身プラン・1年契約プランともお部屋の広さにかかわらず共通。※その他、介護保険自己負担分等の費用がかかります。	食費		76,770円
		管理費		113,652円
		基本運営費		81,708円
		合計		272,130円
		家賃相当額	20㎡居室	18㎡居室
月額利用料	※その他、介護保険自己負担分等の費用がかかります。	家賃相当額	500,000円	450,000円
		食費	76,770円	76,770円
		管理費	113,652円	113,652円
		基本運営費	81,708円	81,708円
		合計	772,130円	722,130円

ショートステイ ※空室があるときはご利用いただけます。 1泊2日 22,000円

東京都有料老人ホーム設置運営指導指針による施設の類型および表示事項
 ■類型 / 介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）■居住の権利形態 / 利用権方式■利用料の支払方法 / 一時金方式■入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護■介護保険 / 東京都指定介護保険特定施設■介護区分 / 全室個室■介護にかかわる職員体制 / 1.5:1 以上

姉妹施設

介護付有料老人ホーム せらび有栖川

〒106-0047 東京都港区南麻布5-12-12
 TEL: 03-5795-4165 FAX: 03-3280-6541

せらび(運営元: 株日本ケアリンク)は、一都三県に事業所を展開しております。せらび恵比寿、せらび有栖川をはじめとした事業所のサービス形態など詳細については、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ / ご見学申し込み せらび恵比寿 担当: 佐々木・福士

03-5723-8887

交通
 ・JR山手線「恵比寿」駅 徒歩11分
 ・JR山手線「目黒」駅 徒歩10分

せらび恵比寿 SEARCH



https://www.j-carelink.co.jp/



超音波頭部ケア・ウルトラマ

低出力超音波により頭部の血流を改善します。
 「Ultra-Ma」に使われる 30 キロヘルツの超音波はイルカが発する超音波と同等の振動数をもっています。
 波長が 5 センチメートルと長いので、心地よく刺激を与えることができます。



超音波頭部マッサージャー Ultra-Ma Model UM-123 価格¥682,000(税込)
 Ultra-Ma Model UM-123X 価格¥880,000(税込)

レビー小体型認知症特定臨床研究中

各種レンタルや
 お得なプランもございます。
 お問い合わせ下さい。

2021年3月14日(日)認知症治療研究会オンラインセミナー
<https://peatix.com/event/1785380> よりお申込みできます。

第10回日本認知症予防学会学術集会にウルトラマを出展いたします。
 開催日: 2020年6月24日(木)~26日(土) 場所: パシフィコ横浜 ノース

株式会社 BP-TECH

Brain & Body Store® あざみ野ショールーム

神奈川県横浜市青葉区あざみ野 2-9-13
 TEL.045-905-3365 FAX.045-905-3369

一般社団法人日本セルフケア研究会
 東京都千代田区神田神保町 2-10-29 2F

次号予告 2021年9月15日発行

次号より誌面がさらに充実

医療・介護のスペシャリストたちによる新企画
 <認知症フロントライン>登場!

Dカフェへのアクセスがさらに分かりやすく

- Dカフェへようこそ 各カフェのプロフィール
- Dカフェわが町 各駅地図
- 認知症サポートマップ&スケジュール

- 連載
- エッセイ 「Dカフェの風景」
- コラム 「地域医者のひとり言」
- ルポ 「認知症カフェであい旅」
- 漫画 「ゆずこのど素人介護」

「でいめんしあ」は区の施設、地域包括支援センター、医療機関、薬局、介護施設など約900カ所まで無料配布しています

介護者がつくる認知症情報誌
 でいめんしあ No.14

2021年(令和3年)3月15日発行
 発行所 特定非営利活動法人 Dカフェまちづくりネットワーク
 Web <http://d-cafe.kazekusa.jp/>
 E-Mail d-cafe@kazekusa.jp TEL&FAX 03-3719-5592
 本誌は目黒区の補助金を受けて発行しています。

表紙画 <杉本聖奈立体イラストの世界>

杉本 聖奈 (すぎもと・まりな)

1986年東京生まれです。先天性聴覚障害と「人とは何かがちがう独特の個性」の中で成長してきました。私にとって大切だったのは、物事や人とのつながりを理解するために「絵を描く」ということ。コトバが満たない子供の目線で、日常のありのままを皆さんと共感できたら嬉しいです。



「春は若桜(わかさ)のサクラ色に」-若桜鉄道-
 4年前の5月、鳥取県の山あいを走る若桜鉄道を訪問しました。若桜鉄道には、鉄道を盛り上げるため、保存機関車を再生、線路を走れるように整備したSLがあります。5月には、鳥取県のイメージカラーのピンク色にお化粧します。その日、サクラ色のSLは、静かに引き込み線で休んでいました。コロナ禍が終息し、元気に走る姿が見られることを祈りつつ……。

主な活動歴

- 2011 銀座で第1回個展「こころの絵カードの世界」展
- 2012 NHKろうを生きる難聴を生きる「わたしの絵は"ことば"」出演
- 2013 東京メトロクッキー「東京三歩」パッケージデザイン担当
- 2014 『聖奈の絵はコトバ』(中央法規出版)刊行 本づくり大賞優秀賞受賞
- 2015 地下鉄博物館で作品展開催
- 2016 障害者スポーツ文化センター横浜ラポールで作品展開催
- 2017 全国若年認知症フォーラムで「でいめんしあ」表紙原画展、講演
- 2017 日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」出演
- 2018 ギャラリー電車「えのでん絵日記号」3カ月間運行
- 2018 鉄道イラストで国交省日本鉄道賞「特別賞」受賞
- 2018 江ノ電グレイブグミゼリーパッケージデザイン担当
- 2019 トット基金美術展、聴覚障がい者芸術展、パラアートフェスに出展
- 2020 三井アウトレットパーク横浜ベイサイドで常設展示

<http://nan-na.jp/>

—介護付きホーム—

ベネッセの介護付有料老人ホーム※1 (一般型特定施設入居者生活介護)

ベネッセのくらはら

お一人おひとりに深く寄りそう「くらはら」の介護

～認知症の方、介護が必要な方、お元気な方も、ご自分らしくお過ごしいただけます～



くらはら西馬込 / 4階リビングルーム兼食堂兼機能訓練室

人員体制

手厚い「2:1」の人員体制※2で暮らしをきめ細かくお見守り



看護体制

看護職員を日中365日配置※2。日々の健康管理や健康相談に対応



グループケア

お身体の状態に応じたフロアごとの少人数グループケア



お食事

お食事は、ホームの厨房で調理。体調に合わせて個別対応も可能



近隣ホームのご紹介

くらはら西馬込 ※1

東京都大田区西馬込1-29-12
◎都営浅草線「西馬込駅」より徒歩4分(約270m)

看護職員を24時間配置※2

メディカルホーム くらはら芦花公園

東京都世田谷区粕谷1-8-4
◎京王線「千歳烏山駅」より徒歩18分(約1,440m)

くらはら田園調布

東京都世田谷区玉堤1-3-3
◎東急東横線・目黒線・多摩川線「多摩川駅」よりバス、「田園調布五丁目」停留所下車、徒歩2分(約160m)

看護職員を24時間配置※2

メディカル・リハビリホーム くらはら二子玉川

東京都世田谷区鎌田3-14-5
◎東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」より徒歩19分(約1,520m)

くらはら上野毛

東京都世田谷区上野毛4-22-20
◎東急田園都市線「用賀駅」より徒歩13分(約1,030m)

“ベネッセの暮らし”を実際にご体験いただけます。

介護でお疲れのご家族様が休養されたいときなどにもご利用いただけます。

「有料ショートステイ」実施中!*

2泊3日から1ヶ月(29泊30日)までご利用可能

*「くらはら西馬込」は除外となります。詳しくはお問い合わせください。

●お身体の状態や空室の状況により、お受け入れができません。ご了承ください。

●介護保険適用外のサービスとなります。

基本利用料等の詳細につきましてはお問い合わせください。

※1:「くらはら西馬込」はサービス付き高齢者向け住宅/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ※2:職員体制は下記【掲載ホームの概要】をご参照ください。

【掲載ホームの概要】■入居条件/入居時自立・要支援・要介護、契約時原則満65歳以上 ■居住の権利形態/利用権方式【くらはら西馬込:建物賃貸借方式】 ■利用料の支払方式/選択方式【くらはら西馬込:月払い方式】 ■居室区分/全個室 ■介護にかかる職員体制/2:1以上(週40時間換算)、夜間帯(22時~翌6時)最少時は看護職員1名【メディカル・リハビリホームくらはら二子玉川、メディカルホームくらはら芦花公園のみ】 介護職員3名(満床時)を配置(人数はシフト数を記載)。看護職員(看護師または准看護師)を常勤換算(週40時間換算)で2名配置(満床時)。 ■類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)【くらはら西馬込:サービス付き高齢者向け住宅/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)】 ■東京都指定特定施設入居者生活介護、指定介護予防特定施設入居者生活介護

●写真は「ベネッセスタイルケア」の施設の一部、およびイメージです。また、家具などは参考事例になります。●記載情報は2021年1月現在のものです。広告有効期限:2021年3月末日

有料ショートステイ・資料請求・入居相談のご予約、お問い合わせは今すぐお電話で!

ベネッセスタイルケア お客様窓口 いーな いーろーご
0120-17-1165

◎お電話で、申込番号 **K1031599** とおっしゃってください。受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日含む毎日)

株式会社ベネッセスタイルケア 〒163-0905 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリスビル

各ホームの詳細は、ホームページで!

ベネッセ くらはら 検索
<https://kaigo.benesse-style-care.co.jp>

首都圏・東海・関西 エリアを中心に 全国300ヶ所以上 有料老人ホームを展開しております。

以下の(個人情報の取り扱いについて)をご確認の上、お名前およびご連絡先をご提供ください。
(個人情報の取り扱いについて) お客様の個人情報は、お申込みいただいた資料送付、見学対応等のほか、弊社およびその関連会社の営む介護その他の高齢者事業、保育等の子育て支援事業、健康促進事業、預金事業およびそれらに付帯する事業に関するご案内の送付等、およびサービスや業務の維持・改善の基礎資料に利用することがあります。個人情報の開示・訂正・利用停止等をご希望の場合は、フリーダイヤル0120-924-540(受付時間9:00~18:00)までご連絡ください。私どもはお預かりした個人情報を大切にお取り扱いさせていただきます。